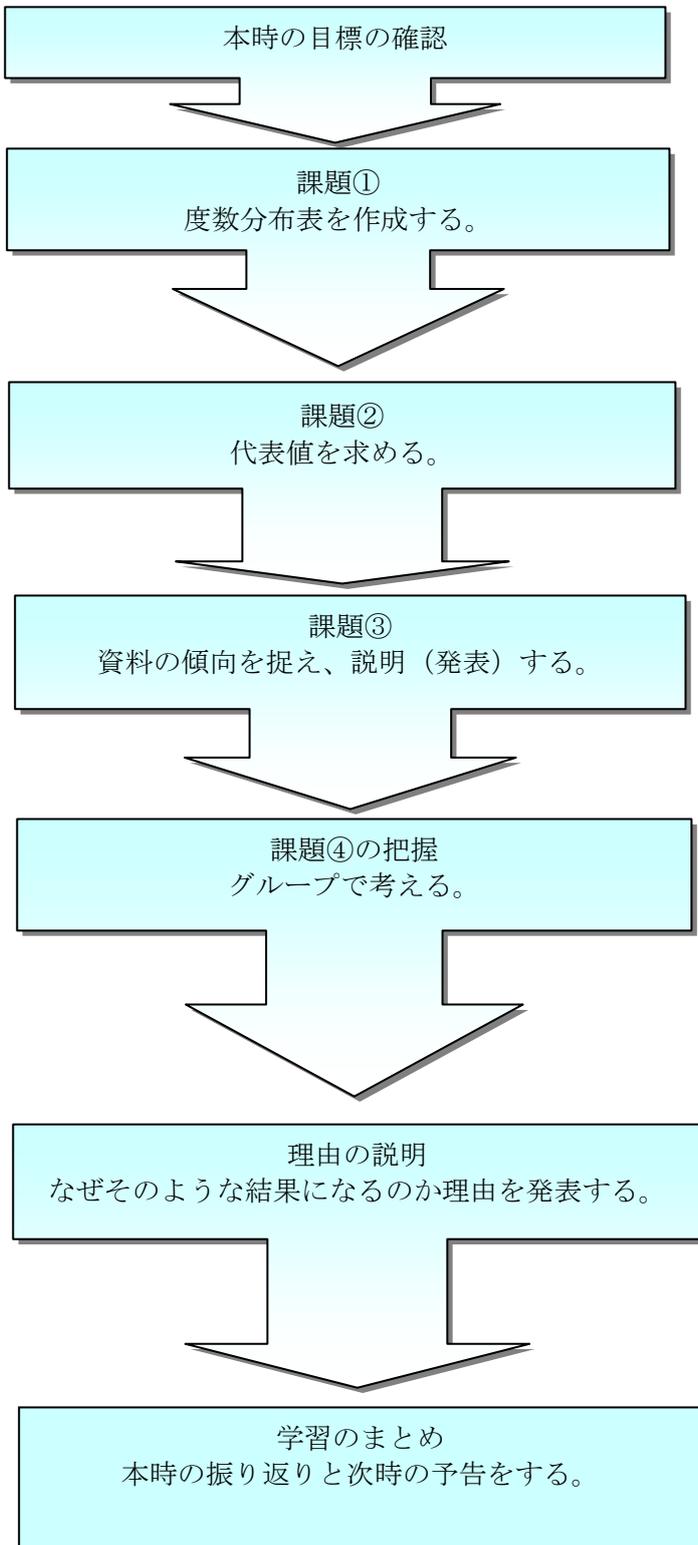


数学科 中学校 1年

単元名 資料の活用
啓林館「未来へひろがる数学1」
(移行措置)

本時の流れ (第6時)



本時の目標

○様々な値を使いながら資料の傾向をとらえて課題を解決させることで、資料の活用方法について理解する。

【課題①】

ある中学校の1年男子集団の運動ぐつ
のサイズを整理して、度数分布表を作成
する。

【課題②】

最大値、最小値、平均値、中央値、最
頻値を求める。

【課題③】

資料の傾向から、靴メーカーなら来年
中学1年生向けに、どのサイズを最も多
く製造するかを読み取り、説明する。

どの代表値を用いるかを考えさせる。

【課題④】

三つの学級全員の100m走の記録を用
いて、それぞれの学級から10人の代表
選手を選抜してリレーをしたら、1~3
位はどの学級になるか、20人のリレー
の場合はどうなるか考える。

予測が当たるかどうかというより、
何を根拠にして資料の傾向をとらえ説
明していくかを明らかにさせる。

活用の力を育てる評価の視点

説明し、伝え合う活動を通して、同じ
資料から様々な解釈ができることを知
り、資料のとらえ方について理解を深め
る。＜数学的な見方や考え方＞

HOME

単元の流れへ